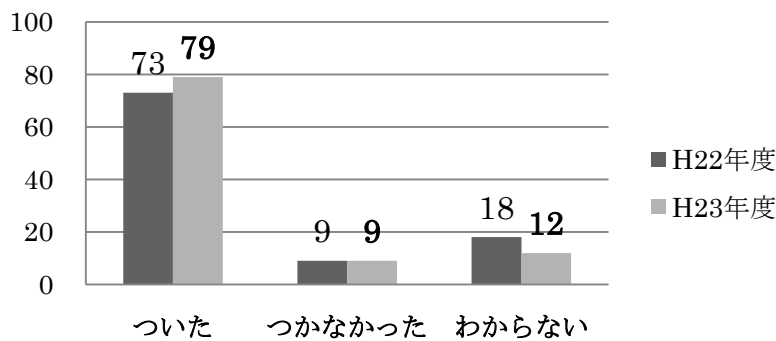


校長ニューズレター(第39号・2月号) 宜野湾市立長田小学校校長:横山芳春



表現活動で育った子どもの自信

自信がついた (%) ?



総合表現を今年度(平成23年度)も学校ぐるみで取り組みました。

まず総合表現はどういったものか、おさらいしましょう。

目的は、

- ・子どもたちに自信や集中力、協力しあう心を育てる。このことは、豊かな心の育成になり、さらには学力向上の下支えになります。

つぎに、学校で可能な理由。

①子どもに特殊な能力が必要というわけではなく、全員で取り組める(また全員で取り組むことが重要)。

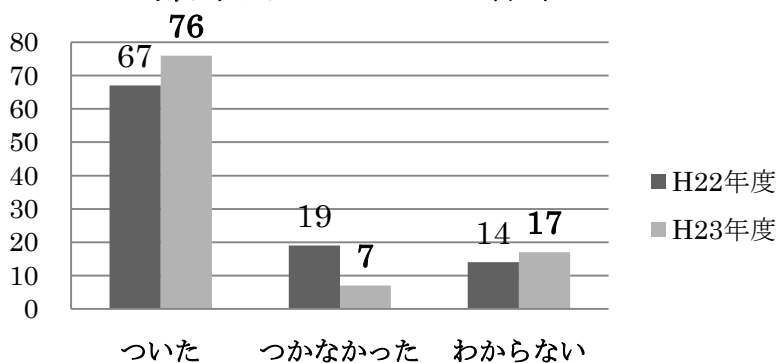
②指導する側にも、特殊な能力がいない。

③きらびやかな衣装や背景画など必要が無く、手間やお金がかからない。その分、直接子どもに時間とエネルギーをかけられる。

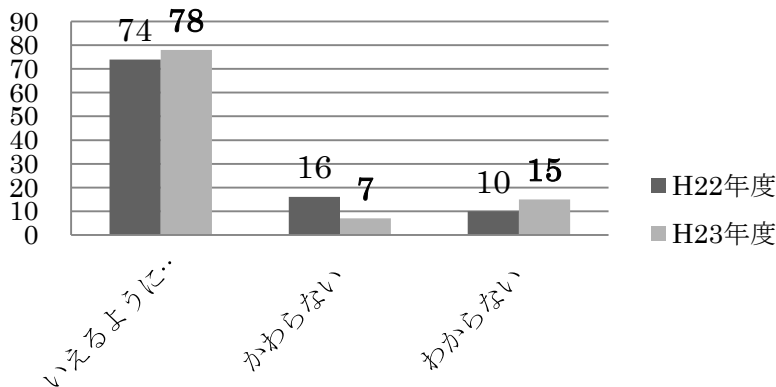
教育的な意味は、

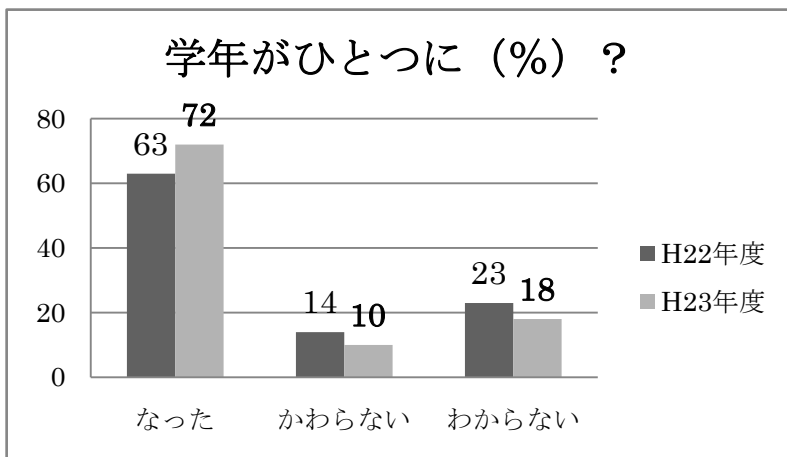
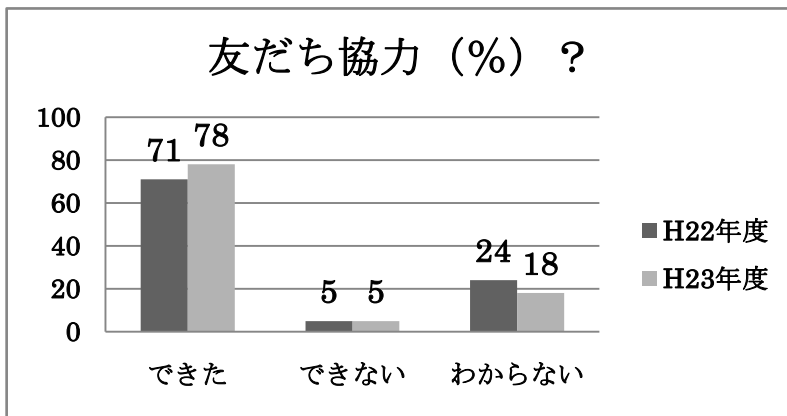
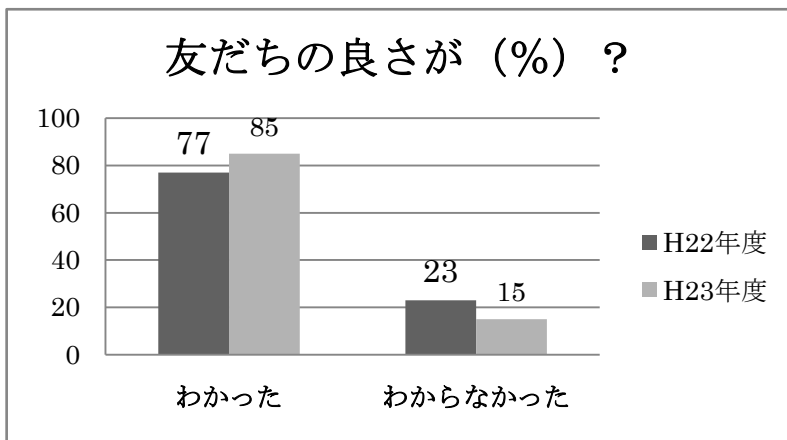
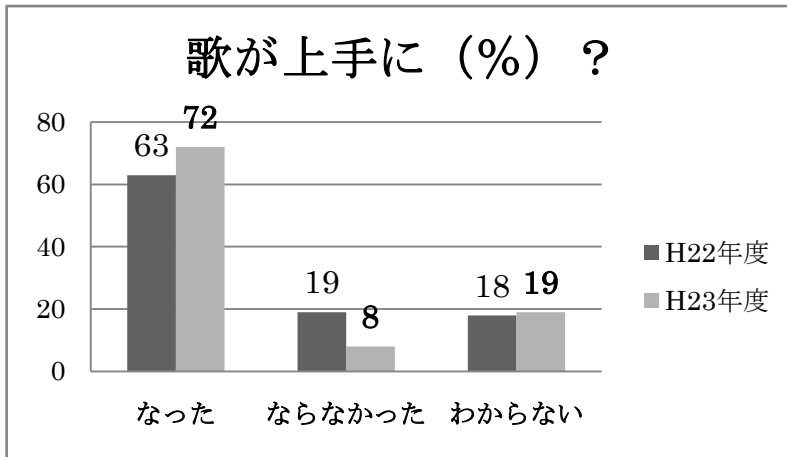
「人間は文章表現でもよい、身体表現でもよい、表現することによって自分をつくり、自分をひらいた人間にしていくことができるからです。ところが今までこの大事な表現を、とくに内容をともなった身体表現を学校教育でも軽視してきました。歌唱や舞踏をい

集中力がついた (%) ?



大きな声でせりふが (%) ?





くめて、形式的な型にはめた身体表現はありましたが、内容をともない、内容を身体で表現し、表現することによって内容をまたつくり出していくようなものは少なかったわけです。

———これからはそういうことを考えて、内容と身体を一つにして表現できるような人間、自分の意志なり内容なりによって、身体を自由に駆使できるような人間にしていくことを、一つの大きな教育目標としていかなければならないでしょう」

（「教師の仕事と技術」斎藤喜博）
すこし長い引用になりましたが、表現に取り組む教育的な意味は上記のとおりです。

総合表現の取組みによって、長田小学校は、

「教科の枠をこえて子どもの感性と知性、集団と個をつなぐ人間的な共感と連帯を育てて」いきます。

- 指導の原点は、
- ①身体表現を教師の型はめではなく、あくまでも子ども自身の創造活動としてとらえること。
 - ②創造過程で、子ども同士の多様な学び合いを組み立てること。
 - ③学級の間人間関係をひらかれたものにし、また授業においてきびしい追求の能力をつちかう努力をすること。（授業研究用語辞典参照）

以上のような目的や意図で総合表現に取り組んできました。今年度の子どもたちの成長は、左記のグラフの通りです。すべての項目でプラスに成長しました。今後は、全ての項目を9割台に高めていきたいものです。